

# 会員一人ひとりの知恵を結集して **秋の平和宣伝** を県内のすみずみに！

## 8月26日開催 **第2回常任理事会報告**



常任理事会は、13名の代表理事・常任理事の出席を得て、水野代表理事の司会により、事務局を会場にして開催されました。今回の常任理事会は、9月8日（土）に開催される第2回理事会に提出する、秋期年末～年明けのとりくみの議案を、討議して決定することが任務です。

事務局から、前回（7/8）以降のとりくみの報告と情勢・今後のとりくみについて提起があり、その後協議に移りました。

大会議案では、秋以降の取り組みの課題は「沖縄の米軍基地」もしくは「脱原発」とし、「情勢を判断して決定」としました。先行する代表理事懇談会でも討議されましたが、全国でも茨城でも、脱原発の取り組みは高揚しており、今後も大きな問題となるという視点を押さえました。

また沖縄の「米軍基地撤去」の取り組みは、オスプレイ配備の問題とともに、日本国憲法と安保条約との矛盾がはっきりと見えるようになり、安保条約廃棄こそ根本的な問題解決になることがわかる、重要な課題になっています。これらを考えて、

(1) 「平和宣伝活動」、「新聞意見広告」に関しては、脱原発・東海第二原発の廃炉を重点にして

(2) 全県単位の学習会は、沖縄の基地問題（オスプレイ）を重点にしてとりくむことを、議案とすることになりました。

また、「東海第二原発の再稼働反対・廃炉に」の署名を平和宣伝活動や平和広告賛同者の獲得の中でとりくむことも提起しました。

事務局では、チラシの作成や、地域と連絡を取りながら街宣車の準備を進めます。

### 1 全県一斉平和宣伝活動（9月末～10月）

内容は「脱原発」「東海第二原発の再稼働反対・廃炉に」とし、音の出る宣伝活動を進める。

①「県で宣伝カーをチャーター」し「地域での宣伝活動（チラシ撒きを含む）」を行う。

○県北 ○水戸 ○県南 ○県西 ○鹿行 の各地域の担当者をきめて、具体化する。

② 事務局は宣伝物やテープを作成し、地域に送付する。

・街宣車の借り上げ費用や警察への届け出は県事務局が行なう。ガソリン代等は地域で負担する。

・具体的な対応は地域の実情に合わせ、相談して決定する。

③「東海第二原発の再稼働を許さず・廃炉に」署名は継続してとりくむ。

・新しい署名用紙やポスターは「東海第二原発再稼働阻止・廃炉を求める県民センター」が作成したものを使用する。

④「日本原電事務所前の抗議行動」（水戸アクション）について  
・毎週金曜日 午後6時～7時30分の時間帯で実施している。

### 2 「沖縄基地問題（オスプレイ）と安保」学習会の開催

○時期設定を、10月末～11月上旬とし、全県規模の学習会を「水戸」又は「石岡」で開催する。

○他団体へも参加を呼びかける。100人以上の規模とする。

○「もう基地の苦しみはごめんです」岩国平和委員会発行パンフ（100円）を活用する。

### 3 「日本平和大会in東京」（平和新聞 8月25日号 参照）

とき 2012年11月23日（金）～25日（日）

シンポ「日米安保廃棄で見えてくるアジアの平和」。

11の分科会 7つのフィールドワークを設置

①実行委員会を結成して会員はもちろん、他団体への呼びかけを強める。

②「平和大会パンフ」（300円）を活用した、地域主体の学習活動を進める。

→主題は「沖縄米軍基地問題」「オスプレイ関係」

→県平和委員会の学習会（沖縄米軍基地問題とオズプレイ）と連動させてとりくむ。

### 4 「平和意見広告」のとりくみ（11月～12月8日）

○12月8日（土）の「太平洋戦争開戦の日」に新聞に掲載  
茨城新聞に1ページ大で掲載する。内容は「脱原発」「東海第二原発の再稼働反対・廃炉に」

○賛同者は個人＝1000円 団体＝3000円とする

○昨年（個人1,122口 団体137口）を上回る取り組みを進める。

### 5 「平和ワイン普及」のとりくみ（11月～12月）

○「ワインを飲んで平和を語ろう」のキャッチフレーズで。

○ワインは良質な山梨県産ワインで、独自ラベルを作成します。

○昨年（786本）を上回る取り組みを進める。

### 6 「組織の強化」と「仲間づくり」のとりくみ

・毎月数人の退会者（高年齢、逝去等）→毎月5人の新しい仲間を作り出すことの徹底。

○「平和学校」を開催する。講師は日本平和委員会代表理事・「畑田重夫」さん

○年内に「水戸」「鹿行」地域で開催する。また「土浦」「石岡」のどちらかでも開催する。

### お知らせ

岩間さん（理事・さくらのまち日立平和の会）が、事務局員として9月より毎週金曜日・事務局勤務となります。

主に県平和委員会の「HPの立ち上げと更新」・「会員の掌握・名簿の作成と更新」を担当します。

### 歓迎！新入会員のみなさんです。

### 宜しくお願ひします。

.....

○榎本 敏雄 さん（守谷市）

○長谷川 重勝 さん（石岡市）

○大木 耕一 さん（東海村）

○藤井 勉 さん（小美玉市）

○中山 太喜子 さん（鉾田市）

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

### 平和新聞

2012年9月5日（水曜日）

1995号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円） 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

### 平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 633

2012.9/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

「さよなら原発4. 1県民集会 in いばらき」  
資料が完成・全会員に配布

「4. 1集会」資料が完成しました。平和委員会では常任理事会決定で、1400部を購入し、無償で全会員に配布しました。A4版・オールカラー16ページで、とりくみの全容が一目で分かります。

また、集会実行委員会は5月に総括会議を開催し、「さよなら原発ネットワーク（略称：「さよ原ネット」）」に発展し、県平和委員会も会員となっています。



【総括集がまとまりました】

2012年日本平和大会 in 東京 11/23~25  
平和な日本とアジアめざす大きななかれを！

首都東京へ  
2012年  
日本平和大会 in 東京  
あなたも！

これが平和で豊かな日本の道

なくせばこうなる!!

「日米安保」

2012年日本平和大会in東京  
学習パンフ  
（日本平和委員会制作）

2012年8月  
発行  
頒価300円

\* 茨城県平和委員会にあります。

第2回県平和委員会理事会のお知らせ

とき：9月8日（土）午後1時半～5時  
ところ：県立青少年会館 中研修室-2（3F）  
水戸市緑町1-1-18 TEL 029-226-1388

議題：1. 秋から年末までのとりくみ  
・秋の平和宣伝活動・平和広告のとりくみ  
2. 仲間づくり  
3. 東海第二原発の廃炉をめざすとりくみ

会員からのお便り

東北の復興いまだならざるに  
なんだか続く天変地変



先日は大会資料をお送りくださりありがとうございます。じっくり読ませて頂き、活動の様子よくわかりました。足腰が悪く出かけられないものにとって、資料送付はありがたいことです。

（みとみなみ平和の会・田中 日出夫）

関東甲信越ブロック 原水協学校  
が開催されます！

核兵器と原発ゼロの連帯した運動が世界と国を大きく変えようとしています。平和で公正な安全・安心した社会を作るために今、一人ひとりが考え、みんなが立ち上がり、行動し、大きな波となって広がっています。

何故、その様なことが起こっているのか？核兵器と原発の関係は、原水爆禁止運動の起こりは、そして日本の原水爆禁止運動の世界的役割は、それぞれの分野で実践し、ご活躍の講師を招へいし、第2回茨城原水協学校としての位置づけも持ち開催します。関東甲信越ブロック地域は、新潟県・刈羽・柏崎原発、福島原発、東海第二原発、静岡県・浜岡原発そして神奈川県原子力空母ジョージ・ワシントンに挟まれ、脅威を与えられています。「核」の脅威から安全・安心な世界、ふるさとを実現するには？

一緒に学びましょう。多数の参加を呼びかけます。



【シリーズ】わか街・わか会員

水戸市/吉成 和夫さん（みとみなみ平和の会）

住みよい国や街をつくるために



学生時代『歌声は平和のために』と「うたごえサークル」でロシア民謡などを歌い、寮生活を謳歌しました。うたごえ活動を通して、平和運動にはごく自然に関心を持って接しました。

ずっと高校生の教育に携わってきて、毎日の生活も平和も自分たちが築いていくものという気持ちを強く持っています。

自分たちの住みよい国や街をつくる気持ちがあれば、平和運動には自然と近づくものです。

一人はみんなのために、みんなは一人のためにの気持ちは、従来からずっと持ち続けた気持ちです。そして自分の経験からいえることは、人に教えることは、自分が本当に分かっていないと出来ないことだということです。

原水協学校 2012 開催要領

日時：9月16日(日)12時半より受付～17日(月・休日)  
場所：いこいの村酒沼 〒311-1401 茨城県銚田市箕輪3604  
TEL 0291-37-1171

16日は13時から17時まで講義

○「核兵器と日本への原発導入問題」  
講師 圓道 正三さん(核・アレルギー問題情報センター常任理事)

○「原水協運動そもそもは？」  
講師 渋谷 要さん(原水爆禁止東京協議会代表理事)

○交流会（19時から、予め申し込んでください）

17日は19時から12時まで講義

○「原水協運動 世界の中で」  
講師 土田 弥生さん(原水爆禁止日本協議会事務局次長)

○「2012年世界大会広島大会に参加して意見交流」  
講師（参加者の皆さん）

○原子力施設見学会又は水戸偕楽園案内（希望を聞く）  
参加費 10,000(資料代、宿泊費、交流会)

5,000(資料代、交流会)

550(県内参加者1日で資料代のみ)

申込先 茨城原水協 Tel & Fax 029-251-9919

Eメール antiatom-i@email.plala.or.jp